

# CONTENTS

01



現状認識と課題提起

02



ASBOコンサルティングサービ ス 03



提供価値・メリット

04



料金体系と導入プロセス

05



最後に

06



質疑応答

01

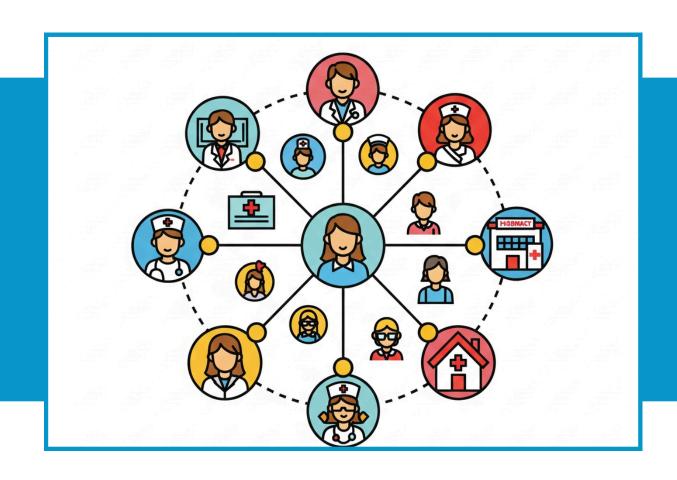
現状認識と課題提起





# 精神医療のトレンド





①精神療養病棟入院料と『疾患別リハビリテーション料』 の同時算定が可能に(2020年)



精神病棟で疾患別リハビリテーションが必須化される可能性

②『精神地域包括ケア病棟入院料』の新設(2024年)



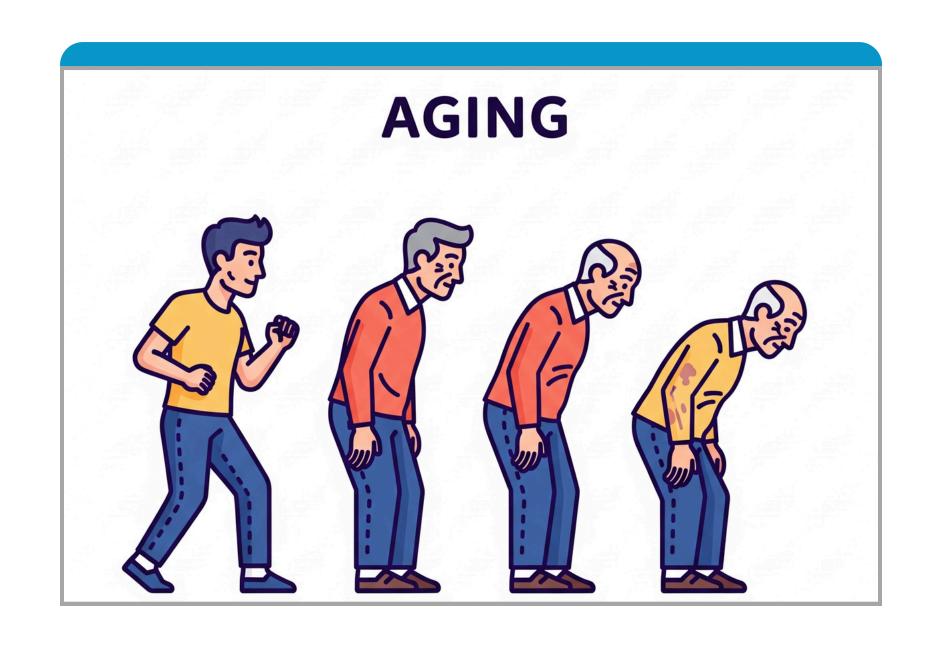
精神領域でも地域包括ケアシムテム強化の流れ が加速する可能性

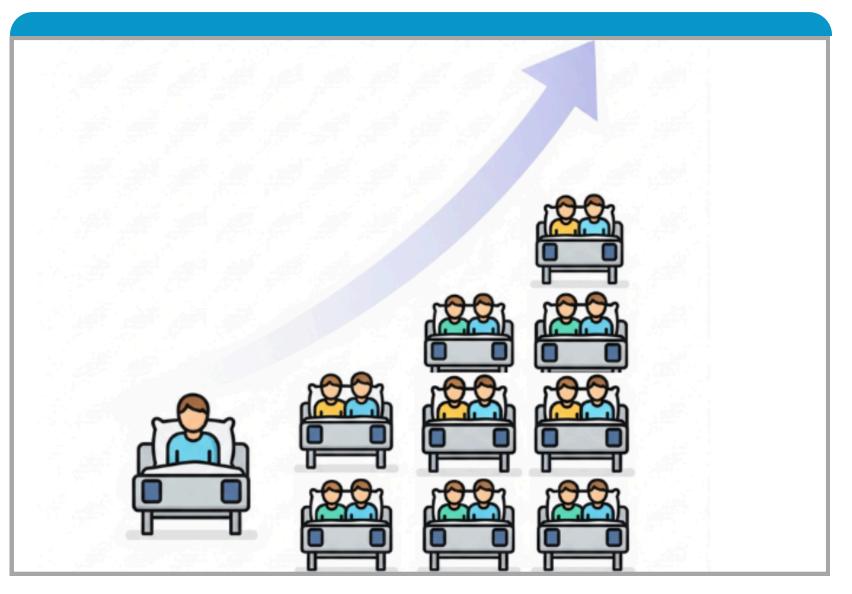


# (3) その背景と問題点

精神疾患患者の高齢化

患者数増加による5大疾病化





# 3 現場で起きていること



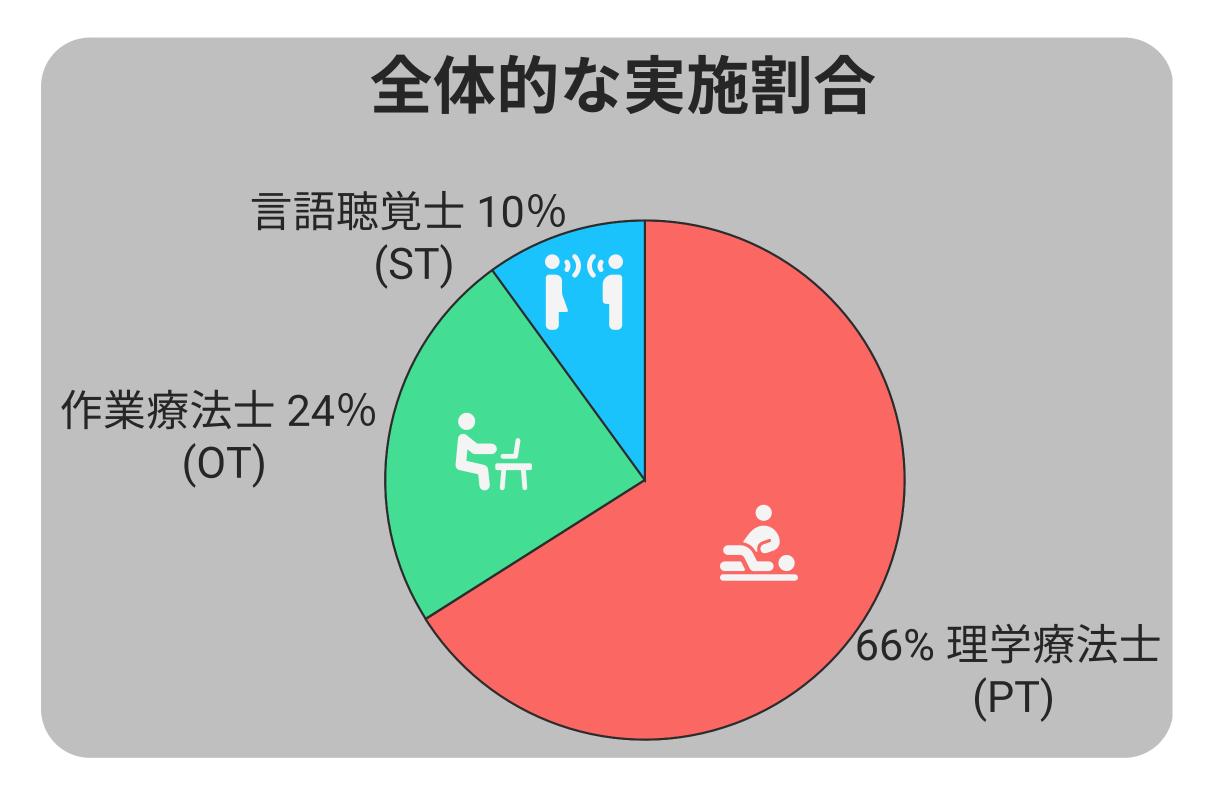






身体的アプローチが重要視されてきている

# (3) 疾患別リハビリテーション実施割合





実質的に理学療法士が中心を担っている

## 『精神作業療法』と『疾患別リハ』でのアプローチの違い

### 精神作業療法

精神症状の安定を重視

活動を通してアプローチ

### 疾患別リハ

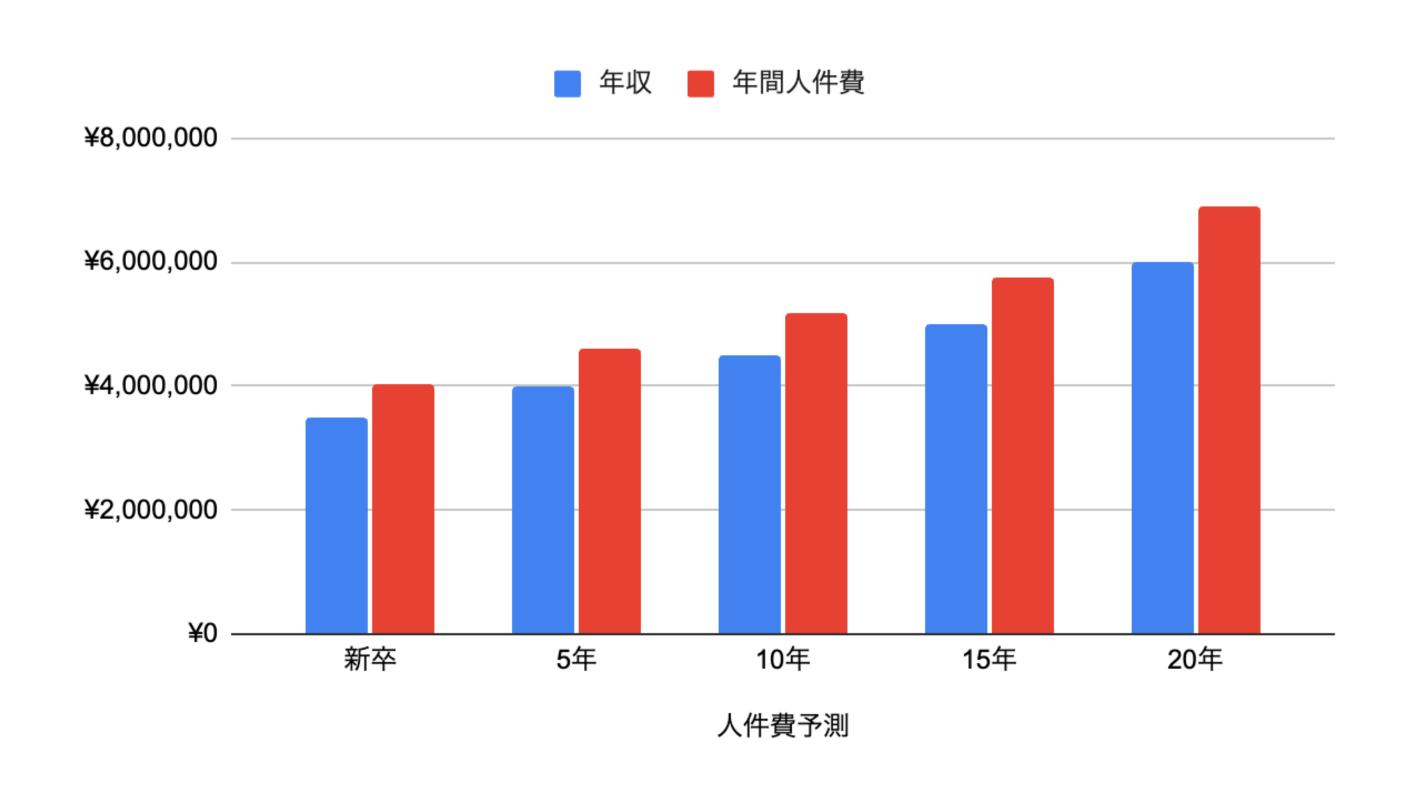
活動の自立・改善を重視

身体・動作へのアプローチ

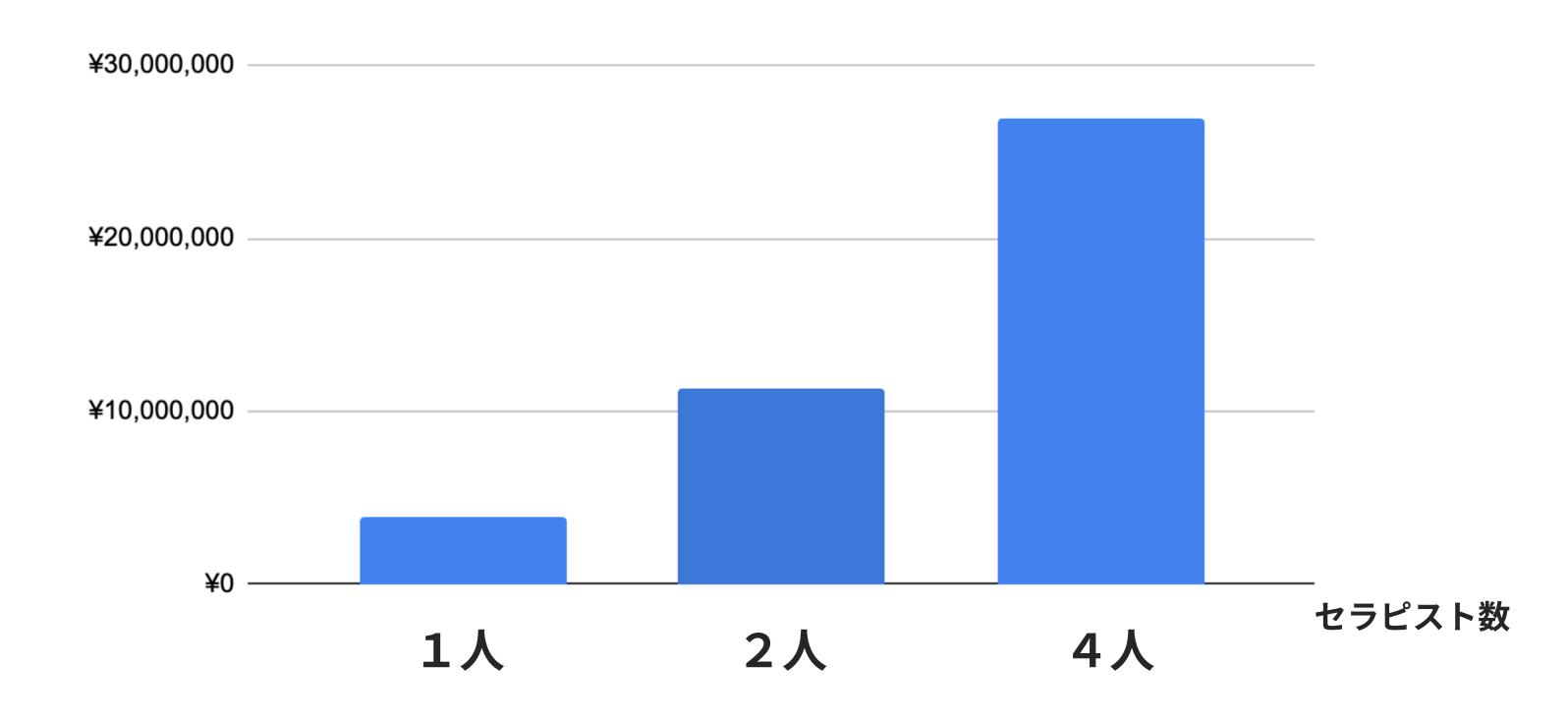


精神領域でも積極的にPTを雇用する流れになるか?

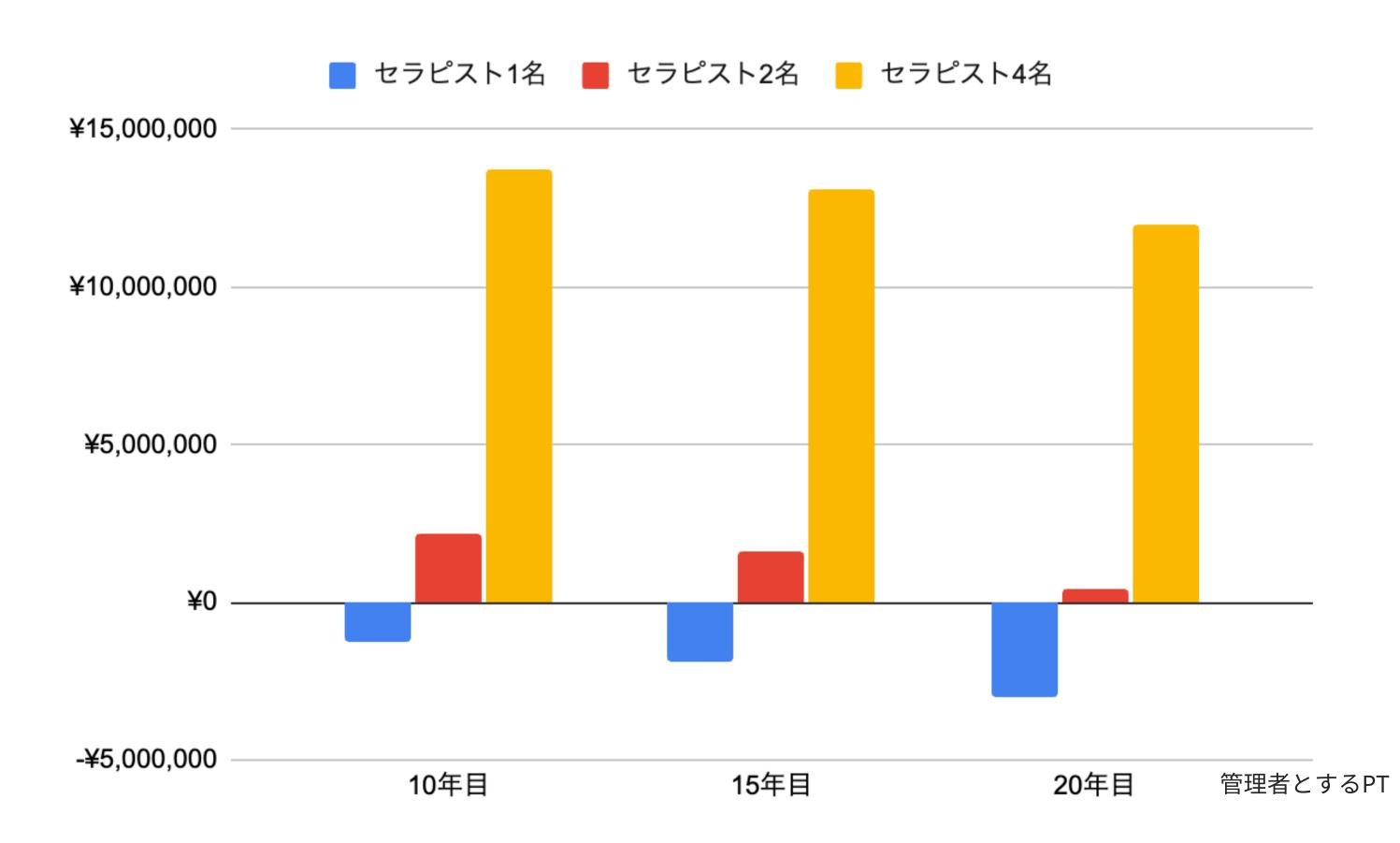
# (3) PT雇用時の推定年間人件費



# (3) 疾患別リハ導入時の年間売上シミュレーション



## (1) 疾患別導入時の実利益シミュレーション





## □ 精神病棟で疾患別リハを導入した際のセラピストの動き



立ち上げにあたって、

管理経験のあるPTが必要

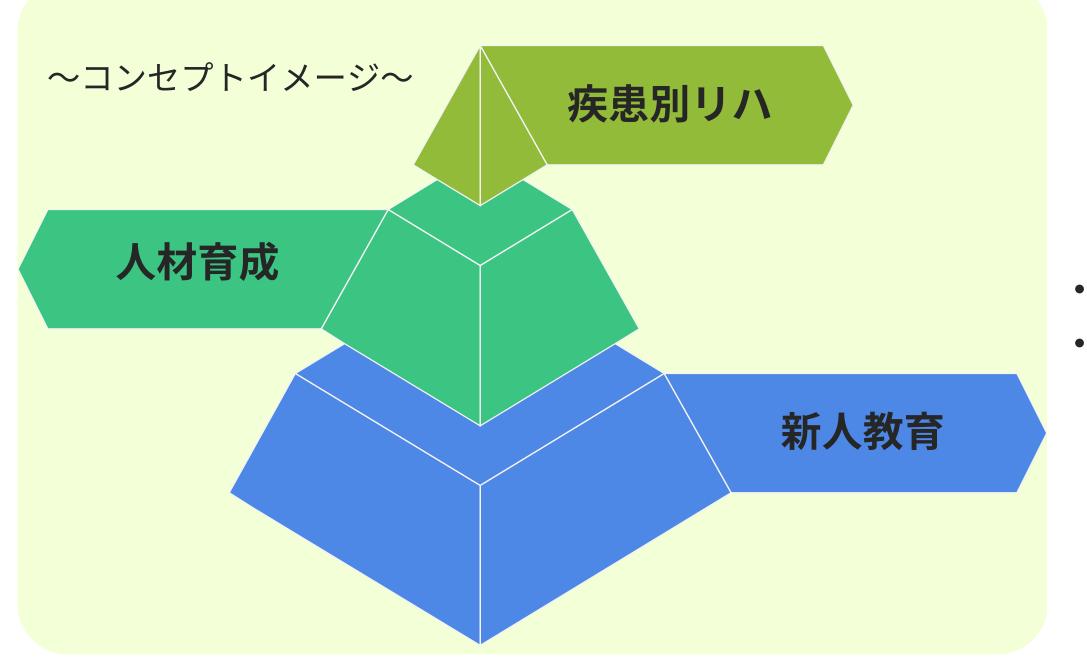
02

ASBOコンサルティングサービス



# 当社提案

「『新人セラピスト』を雇用してリハビリ収益を最大効率化しつつ、 精神地域包括ケア病棟移行への『基盤』を固めませんか?」



- ・当社セラピストは管理経験が豊富
- ・疾患別リハに関わる管理・教育部分を担う

## 当社推奨の疾患別リハ導入戦略

リハビリ収益の効率化



リハビリ基盤の強化

新卒PT1人、新卒OT1人の計2名の雇用で運動器リハビリテーション料(Ⅱ)を算定 新卒PT 新卒OT 疾患別リハを理解した 精神疾患の病態と介入方法を理解した 精神地域包括ケア病棟における 疾患別リハの核 リハ部門の核

03

導入効果



### 短期的効果

- ・疾患別リハビリテーション料による増収
- ・患者QOL向上

### 長期的効果

- ・新卒セラピストの育成後、4人体制でより高単価の疾患別リハビリテーション料を算定し、増 収を目指せる
- ・リハビリ部門の基盤を安定させ、精神地域包括ケア病棟へのスムーズな移行が可能
- ・精神地域包括ケア病棟への移行に伴う増収

# 当社サービス内容

立ち上げにおける情報の共有

立ち上げにおける情報の共有

管理に必要なツールの作成・運用

セラピスト教育(直接指導、LINE・メールによるサポート)

各種パラメーター分析による算定の最大効率化

04

料金体系と導入プロセス



### ~6ヶ月目

契約料:5万円

コンサルティング料:25万円

- •月2回現地訪問
- ・LINEやメールによるサポート

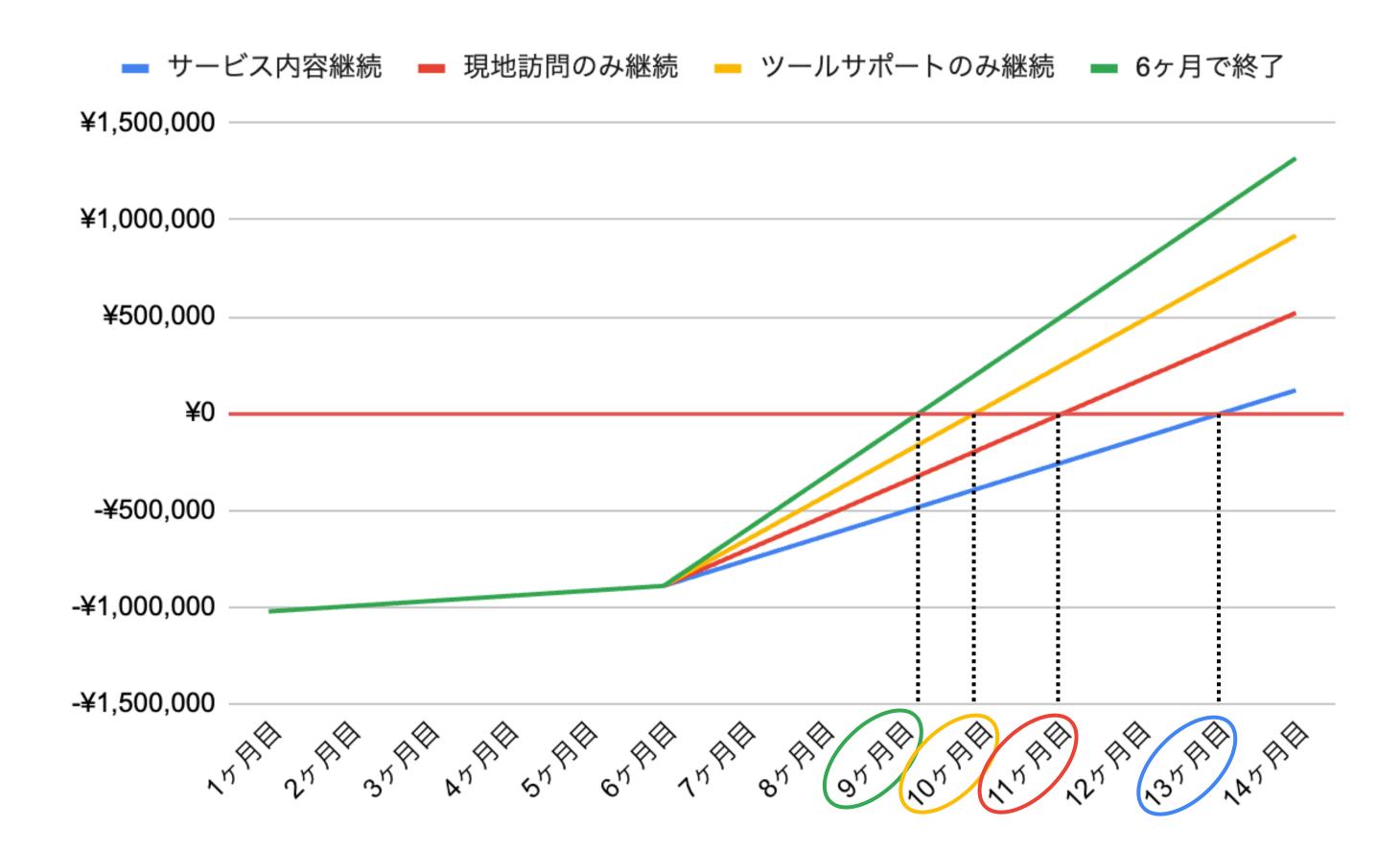
### 7ヶ月目~

現地訪問によるヒアリング・指導:10万円(月1回)

LINE・メールによるサポート料:15万円

※初月のみ契約料+コンサルティング料で30万円

## 当社サービス導入による収益シミュレーション



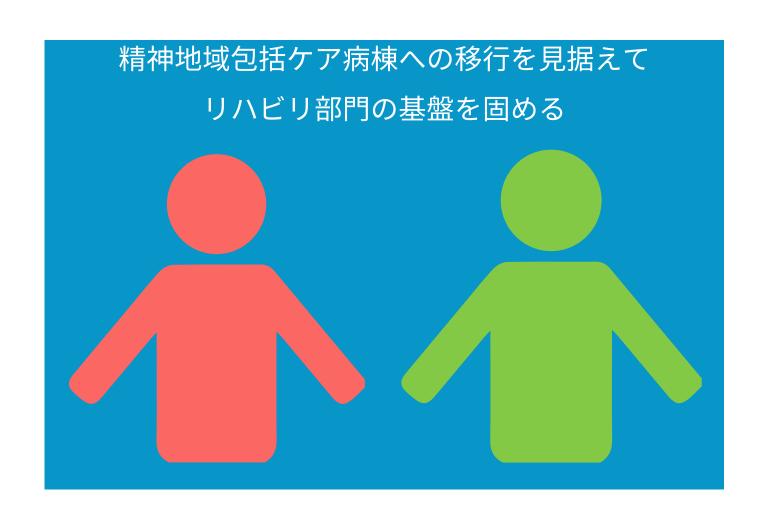
05

最後に



# 本日の提案内容







経営的安定と時代の流れへの対応 ASBOコンサルティングサービスが貴院の経営的安定と時代の流れに合わせた体制強化 の一助となること



06

質疑応答



